



社会科



社会科実践事例集

1 社会科における深い学び

広がり、つながりに着目して考え、社会の中で活用できる力を身に付けるための学び

2 「深い学び」を目指すためのポイント

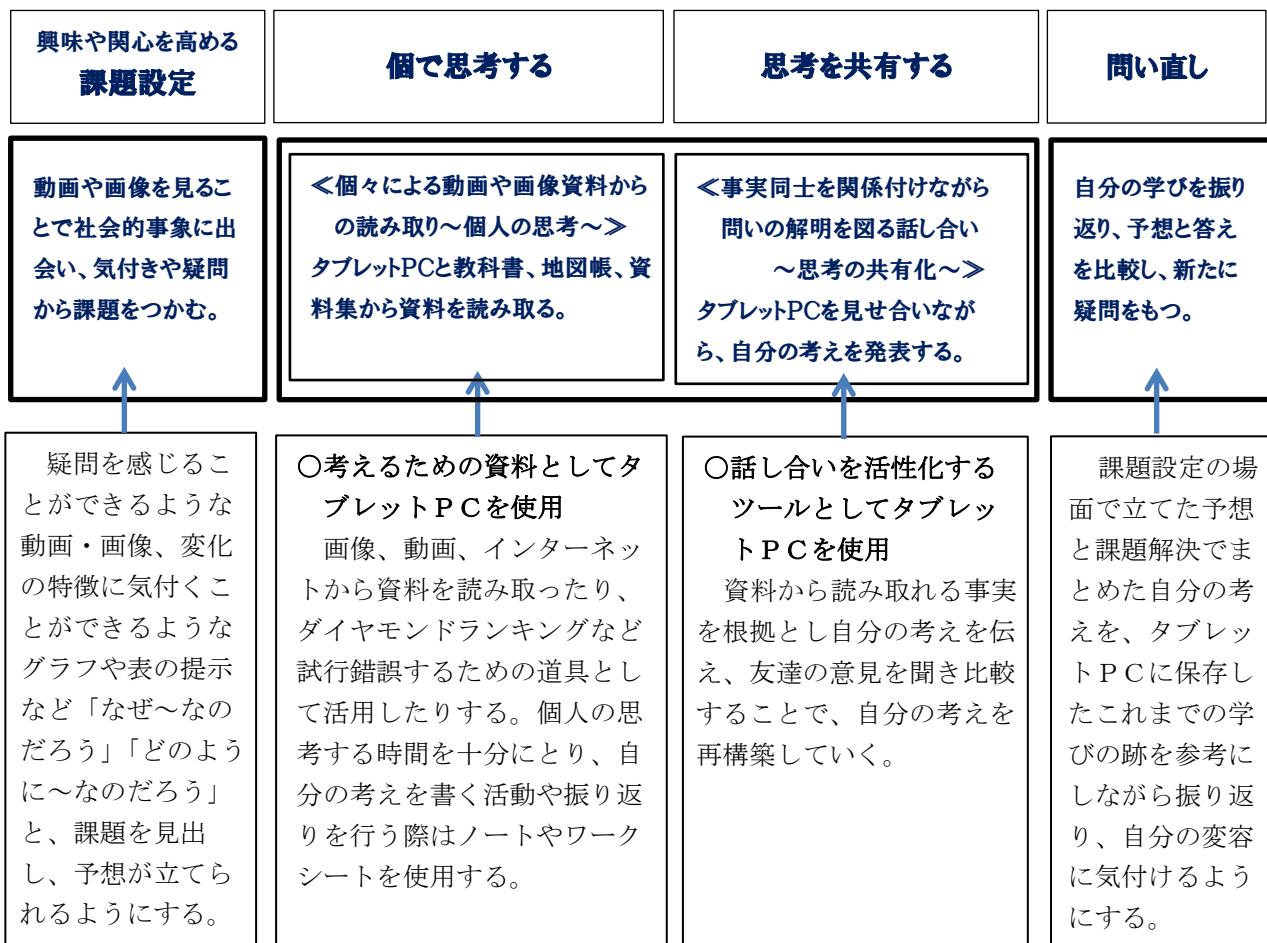
① 子供が自分の考えを深めるための工夫

社会科における「見方」とは、小学校段階では学習の対象（社会的事象）を「位置や空間的な広がり」「時期や時間の経過」「事象や人々の相互関係」に着目して捉えることであり、中学校ではそれぞれ「社会的事象の地理的な見方」「社会的事象の歴史的な見方」「現代社会の見方」となる。社会科では、これらの「見方」を生かして一時間一時間の課題を設定し、その課題を追究する過程で様々な資料を多面的・多角的に考察したり、学んだことを基に社会に見られる課題の解決方法を考えたりすることで学びを深めていく。さらにこれらの活動を通して、特定の事例にしか当てはまらない知識ではなく、様々な事例に当てはめて使うことのできるような概念的な知識の獲得を目指していく。

② 目指す児童・生徒の姿

- ・社会的事象の中の課題に気付き、解決に向けて進んで取り組む児童・生徒
- ・学び合いを通して、社会的事象のもつ特色や相互の関連、意味を捉える児童・生徒
- ・よりよい社会を実現しようと、学びをいかす児童・生徒

3 深い学びを実現するための学習の流れと I C T 活用例



第4学年社会科学習指導案

1 単元名

「わたしたちの東京都」

小単元名 「わたしたちの東京都と日本」

2 単元計画

次	時	学習内容	I C T
1	1	47都道府県の位置や特色について調べる。	・写真の資料提示
	2	都道府県クイズをつくる。	・プレゼンテーションソフト ・インターネット検索
2	3	学習問題に対する予想を立て、学習計画を立てる。	
	4	東京都の土地の高低を調べる。	・立体画像の資料提示
	5 (本時)	東京都の土地の使われ方を調べる。	・写真の資料提示・google マップ
	6	東京都の交通網を調べる。	・動画や写真の資料提示
3	7	学習問題に対して、自分の言葉でまとめる。	

3 本時（7時間扱いの5時間目）

（1） I C T活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	課題を発見する 見通しをもつ	自分の考えを形成する	情報を整理・分類・選択する 考え方を広げる	
タブレット P C				

（2） 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 前時を振り返り、本時のめあてを知る。	・地図帳・白地図を使い、前時までの内容を確認する。 東京都はどのような土地の使われ方をしているのだろうか。
2 4つの市区町村の位置を確認する。 ・檜原村　・八王子市　・府中市　・中央区	
3 ペアで4つの写真是それぞれどの市区町村の写真かを考える。	・写真の中でポイントとなる部分に印を付けるように促す。
4 全体で考える。	・既習内容や生活経験をもとに根拠をもって写真と市区町村の位置を考えられるようにする。
5 東京都の土地の使われ方の地図を見て、東京都全体の土地の使われ方を知る。	<問い合わせ>
6 Google Map 3D 地図で各場所の様子を確認する。	★東京都の土地や土地の使われ方について考えることができる。
7 本時の振り返りを文章で書く。 ・東京都は地形によって、土地の使われ方が違う。	・本時のめあてについて振り返り、分かったこと、もっと知りたいこと、疑問をまとめること。

第5学年 社会科学習指導案

1 単元名

「情報産業とわたしたちのくらし」

2 単元計画

次	時	学習内容	I C T
1	1 (本時)	地震直後の放送局の災害報道の様子について調べる。	ロイロノートで考えを共有 動画・静止画の資料提示
	2	学習問題に対する予想を考え、学習計画を立てる。	
2	3	放送局がどのようにして放送しているのかを調べ、放送産業に携わる人々の思いや願いが分かる。	動画や写真の資料提示
	4	放送局の発信者としての責任と受け取る側の正しい判断が求められていることを考える。	動画の資料提示
3	6	調べたことを学習問題に対して考えをもつ。	

3 本時（6時間扱いの1時間目）

(1) I C T活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	興味関心を高める 課題を発見する	自分の考えを形成する	情報を整理・分類・比較する 考えを広げる	
タブレット PC				

(2) 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
	<ul style="list-style-type: none"> 前時のオリエンテーションの内容を想起させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 大きな地震が起きた後のテレビ局は、どんな放送をしてきたのだろう。 </div>
1 地震が発生したとき、放送局がどのようにして情報を伝えているか、予想する。	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが普段目にしている災害報道の様子を想起させる。
2 二つの震災の発生直後のテレビ放送の様子について調べる。	<ul style="list-style-type: none"> 人の様子、画面の様子、伝える内容に注目させる。 <p>【2016年11月22日5時59分 福島県沖の地震の画面】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震が発生してすぐに情報を伝えている。 様々な地域の様子が画面に映し出されている。 アナウンサーの人の口調がいつもの様子とは違う。 <p>【11月22日の福島県沖の地震の災害報道の様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> 静止画をもとに、分かったことを書き出し、交流させる。 児童の意見を分類整理して板書する。 <p>【1月17日の阪神淡路大震災の災害報道の様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二つの動画を比べ、テレビ局がしている工夫についてさらに気付けるようにする。 ＜問い合わせ＞ <p>★災害報道の様子を通して、放送局と私たちの生活とのかかわりについて関心をもち、意欲的に調べている。</p>
【1995年1月17日5時46分 阪神淡路大震災の画面】	
3 本時の振り返りを書く。	<ul style="list-style-type: none"> 不思議に思ったことや調べたいことを書かせることで、次時の学習問題へつなげる。
・より早く情報を伝えられるようになったのはなぜだろう。	
・アナウンサーが準備しているのだろう。	

第6学年 社会科学習指導案

1 単元名

「子育て支援の願いをかなえる政治」

2 単元計画

次	時	学習内容	I C T
1	1	写真から、「ゆう杉並」の活動の様子について調べる。	写真による資料提示
	2	「ゆう杉並」が区民の願いによってできたことを知り、疑問に思ったことを基に学習問題を見出す。	
2	3	「ゆう杉並」でできることや、「ゆう杉並」が取り組んでいることについて調べる。	インターネットによる情報収集
	4・5	「ゆう杉並」が建設されるまでの区役所や区議会の働きについて調べる。	
	6	「ゆう杉並」の建設費用を基に、税金について調べる。	
3	7 (本時)	「ゆう杉並」が建設されるまでの過程を関係図に整理し、学習問題を解決する。	ロイロノートによる思考の共有

3 本時（7時間扱いの7時間目）

(1) I C T活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動			共に考えを創り上げる	
タブレット P C				

(2) 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 前時までの学習を振り返り、本時の課題を確認する。	・区の政治の働きは、区議会や都・国などと関わり合いながら成り立っていることを想起させる。 学んだことを関係図に整理し、私たちと政治とのかかわりについて考えよう。
2 ゆう杉並が建設されるまでの過程を関係図に整理し、学習問題を解決する。 ・区役所と区議会は予算案や計画案のやりとりで結ばれる。 ・区役所は補助金の申請などで都や国とつながっている。 3 政治と自分たちとの関わりについて、関係図を基に話し合う。 ・選挙によって区民と区議会・都や国が結ばれる。 ・願いによって区民と区役所は結ばれる。 ・関わりがある分、それぞれの場所で行われていることに対して、注目しないといけないのではないか。 4 政治と自分たちとの関係や、これから政治へのどのように関わっていくべきなのか、自分の考えをまとめる。	・結んだ線や矢印の意味についても確認を行う。 ・グループに1台タブレット P Cを配り、画面上の図を用いて話し合いをさせる。 ★杉並区が区民の願いを受け入れながら国と協力していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて考え、適切に表現している。 ★政治への関わり方について、意欲的に考えようとしている。 ・関連図をもとに、政治との関わりについて自分たちにできることを考えさせる。 <問い合わせ>

第7学年 社会科学習指導案

1 単元名

「世界各地の人々の生活と環境」

2 単元計画

次	時	学習内容	ICT
1	1	世界の様々な気候	デジタル教科書や書画カメラによる資料提示
	2	暑い地域の暮らし	プレゼンテーションソフトと写真、動画、書画カメラによる資料提示
	3	乾燥した地域の暮らしと温暖な地域の暮らし	プレゼンテーションソフトと書画カメラによる資料提示
	4	寒い地域の暮らし	プレゼンテーションソフトと書画カメラによる資料提示
	5	高地の暮らし	プレゼンテーションソフトと書画カメラによる資料提示
2	6・7 (本時)	世界各地の衣食住	タブレットPCによる資料活用
3	8	宗教と生活のかかわり	プレゼンテーションソフトと書画カメラによる資料提示
	9・10	世界各地の人々の衣食住のまとめ	タブレットPCのロイロノートによるまとめ

3 本時 (10時間扱いの7時間目)

(1) ICT活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	興味・関心を高める	既習の知識・技能を活用する	互いの考えを比較する	振り返って次へつなげる
タブレットPC				

(2) 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 本時の目標と課題の写真を知る。	・前時における学習の内容を確かめる。 ・調べ方や書き方について確認する。
2 資料を活用しながら、写真がどの地域かを考える。 ・A、B、C、D、Eの位置を地図帳で確認する。 ・資料を使いながら、写真がA、B、C、D、Eのどの地域なのかを判断し、その根拠を書く。 ・写真の衣服は、暖かそうだから、寒い地域だと考えられる。 ・バナナがあるので、熱帯の熱い地域だと考えらえる。	・判断の根拠には、写真に赤で○をつけさせる。 ・タブレットPC上の資料への書き込み ・インターネットによる資料検索 ・タブレットPCによる写真の拡大
3 グループでどこの地域かを話し合う。 ・標高の高い地域では、アルパカの毛の服を着ていたから、Eだと考えられる。 ・住居が土でできているので、乾燥した地域と考えられる。	・タブレットPCを見せながら、一人一人自分の考えを発表させ、それぞれの判断の根拠を共有する。 ・結論を決めることよりも、結論を出す根拠をより多く出せることが重要であることを伝える。
4 グループの結論を全体で共有する。	<問い合わせ> ・スクリーンを見て、各班の考えを共有する。
5 写真がEの写真であることを知る。	★写真から読み取った情報と自然環境を結び付けて判断し、考えることができたか。
6 本時を通じて、自分の考えたことだけでなく、新たに自分で気付いたことや影響を受けた考えについて振り返る。	